

ドクターヘリは 10年目を迎えました

●9月9日、15日は救急医療週間



▲上記の写真は島根県防災ヘリ「はくちょう号」

まめなかの

発行責任者

隠岐広域連合立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町

ドクターヘリについて

1997年4月より県の事業として、救急患者緊急搬送モデル事業（通称、ドクターヘリ）が開始されました。

ドクターヘリとは、県の防災ヘリコプターに本土の病院の医師が同乗し迎えにきてくれるシステムです。

このシステムには3つの利点があります。

- ① 必要に応じて搬送対象疾患に対する専門医師がやってくる事が可能になった。
 - ② 隠岐病院の医師が当日もしくは翌日の診療にきたすことなく、緊急搬送が出来るようになった。
 - ③ 同乗医師の交通・宿泊費などを患者さんが負担する必要がなくなった（県側負担）。などが挙げられます。
- このドクターヘリのおかげで、なかった時代と比べると、緊急搬送がより安全に行えるようになりました。

緊急搬送について

平成18年度の緊急搬送方法の内訳は以下の通りです。

島根県防災ヘリ	47件
C-1輸送機	12件
海上保安庁ヘリ	6件
船舶	10件
その他	4件

右記のような現状であり、島根県防災ヘリの活躍は隠岐の緊急搬送において重要な役割を担っています。

緊急搬送先について

平成18年度緊急搬送先の内訳は以下の通りです。

島根県立中央病院	33件
松江赤十字病院	43件
その他医療機関	3件

搬送の際、搬送先の確認、搬送に必要なもの、関係機関への連絡・確認といった準備をしておきます。その為、患者様やご家族の方には、お待ち頂くようになるかとは思いますが、搬送先の医療機関の受け入れが大切です。何卒、ご理解の程宜しくお願い致します。

出来ることであれば、誰もが緊急搬送といった方法になるような病気や怪我に会うことがないようにしたいものです。

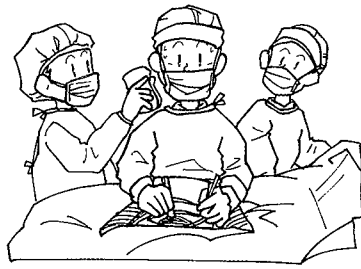
一日看護体験記

当院では、今年も中・高校生を対象に「一日看護体験」の事業を行いました。体験後、参加された生徒さんたちに感想を頂きましたので、一部抜粋して以下に掲載いたします。

昼過ぎに手術があるらしく、見せてもらうことになりました。最初は、遠くから眺める程度と言われていたのですが、実際は、手術をする先生方の超至近距離で見ました。菌が入ってはいけないらしく先生方はとても重装備でした。手術中はとても眠かったです。きつとあくびをすれば先生方に支障をきたすだろうと思い、ひたすら我慢したからだと思います。手術中の先生方やサポートを行う看護師さんたちの動作一つ一つに驚きと感動を得ました。とにかく貴重

な体験でした。

Y・H



今日、私は隠岐病院でいろんな体験を行い、「やっぱり私は看護師になりたい!」と思いました。それは、今日体験してみても、私の気のせいかもしれません。看護師さんも患者さんに元気をもらっている気がしたからです。看護師という仕事はハードで、とても大

変な仕事だと思えます。でも、人を助けるといふことはとても良いことで幸せになれることだと思います。

Y・N

僕が今回の体験で感じたことは三つあります。一つ目は、看護する人が体温などを聞くとときに患者と仲良く話をしていたので自分の中にあった病院のイメージが大きく変わったということです。二つ目は、リハビリについてです。初めて生でリハビリをしているところを見ましたが先生も患者さんと同じ目標に向かって一緒に運動をしている姿を見て、少し感動しました。三つ目は、病院は医者だけじゃなくて看護師さんや薬剤師さんなどいろいろな人の力があつて成り立っているんだなと思いました。

T・S

今日、一日ずっと看護師さんについて感じたことは「歩くのが早いな」と思いました。看護師さんは常に時間に追われているんだなと思いました。何でもテキパキと仕事をこなして、次々に仕事があつて頭が一日中フル回転して

いて大変だなと思いました。それでも、患者さんに対しては終始笑顔で対応する患者さんの年齢に合わせた話をされていて感心しました。

M・A

三階では、患者さんの髪とか手とか足を洗ったり爪を切らせてもらったりしました。「ありがとう!きれいなになったよ」って言うてくれた人もいて、何か、やっぱり看護師っていいなあーと思いました。最近、保健師が増えて、助産師が減っているらしくて隠岐病院には7人くらいいるそうです。数日前に生まれた赤ちゃんをだっこしたけど、小さくてすっこいかわいかったので、助産師もいいなあって思っちゃいました。

O・T



ベッドのシーツ交換や、患者さんの手や足を洗わせて頂いたりということもすんだと思ったりしました。ビックリしたし、仕事が多かったです。仕事を聞かしてもらってうれしかったです。仕事の一つ一つに、責任を感じておられて注射一本に、大変な苦勞をされているんだなと思いました。(楽じゃないんですね) 一日歩き回って大変なはずなのに、患者さんと笑顔で接して「疲れた」とか、そういうことも一言も言われていなくて仕事って厳しいなと思った。看護師さんはすごくてかっこよくて、優しくて凄くいいな。あんな風になれたらなと思いました。分娩室や手術室へ行かせて頂いたときには、「隠岐病院ってこんなに広かったっけ」と思いました。驚いたことは、隠岐病院で結構たくさん種類の手術が出来るということ。凄くビックリしました。

S・W

体を拭いたり、手足を洗ったりするのは毎年やっていることだけど、洗い終わった後の感謝の言葉や、良かったよという返事がもら

えるのはやっぱりうれしいです。今年も、ひげ剃りや爪切りなどの初体験もさせてもらい、いろいろな経験をすることが出来ました。



Y・N

注射は、自分は大嫌いだけど、看護師さんのする姿を見て「かっこいいな。私、本当に出来るのかな」と思っていました。シーツ交換や手、足、頭、を洗うのは看護師さんの仕事じゃないと思っていたので、ビックリでした。一番心に残っているのはお腹の赤ちゃんの音を聞いたことです。人の腹の中に、命があるんだと凄く感動しました。看護師さんの裏の仕事を見られて勉強になりました。勉強も嫌いだし、人の血を見るのも苦手だけど、出来たら看護師になりたいと思っています。もし、なれたら必ず隠岐病院で働きます。

M・A

インフルエンザ予防接種のご案内

インフルエンザ合併症としては、高齢者や心臓に持病を抱えている人が併発しやすい肺炎があります。また、乳幼児がごくまれに併発する脳炎や脳症もあげられます。これらの合併症はインフルエンザによる死亡の大きな原因ともなっています。

これらの合併症を併発しないための対応策としては、インフルエンザが流行する前に予防接種を受けることです。

そうすれば、インフルエンザにかかったとしても症状が軽くなります。

接種したほうがよい人

高齢者、施設などに入居している慢性の病氣をもつ方、気管支喘息をもつ小児などは重症化を防ぐために予防接種したほうが良いと思われまます。また、右記の方と同居している方、お世話をしている方も予防接種をおすすめします。

予約制ですので、ご注意ください(裏面に関連記事あり)



- ・インフルエンザの予防には、予防接種が有効です。
- ・予防接種は、インフルエンザにかかりにくくしたり、かかっても症状が軽くてすみます。
- ・高齢者・小児(その人たちをお世話している方)は、予防接種をおすすめします。

予防が一番！インフルエンザ

インフルエンザ ワクチン接種について

予約制ですので接種希望の方は
お電話でご予約願います
(10月末まで)

当院内科及び小児科では、予約制によるインフルエンザワクチン接種を行います

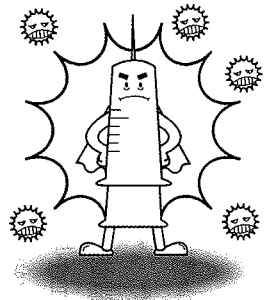
★ 予約の受付は、平日14時～17時 地域連携係（2-1356内線181）までお願いします

★ 予約期間は、10月10日（水）～10月31日（水）とさせていただきます

成人用

—接種についての注意事項—

- ① 成人の場合、1回接種となります
- ② 予約当日14時に内科外来にお越しください
(接種時間14:00～15:00)



☆ 11月の予定

7日（水） 9日（金） 14日（水） 16日（金）
21日（水） 28日（水） 30日（金）

☆ 12月の予定

5日（水） 7日（金） 12日（水） 14日（金） 19日（水） 21日（金）

接種料金 1,500円（隠岐の島町に住民登録をしている65歳以上の方）
4,900円（上記以外の方）

小児用

—接種についての注意事項—

- ① 通常、2回接種（間隔は最低1～4週間）いたしますので、なるべく11月中に1回目の接種をお済ませください
- ② 10月～翌年1月までの間に他の予防接種を受けられる予定の方は予約時にお申し出願います
- ③ 予約当日14時に小児科外来にお越しください
(接種時間14:00～15:30)



☆ 11月の予定

1日（木） 8日（木） 13日（火）
22日（木） 29日（木）

☆ 12月の予定

6日（木） 11日（火） 20日（木）

※ 13歳以上(中学生)は1回接種となりますので上記予定以外に

11月1日から12月20日までの平日16:30での接種もいたします

接種料金 初回：3,770円
2回目：2,360円